

動詞と文

第1ブロック(5級対応)

I 人称変化 (バリエーションを含む) (CD・13)

Ich **trinke** Kaffee.

私はコーヒーを飲みます。

Er **trinkt** Tee.

彼は紅茶を飲みます。

Sie **trinken** Mineralwasser.

彼ら(彼女ら)はミネラルウォーターを飲みます。



確認

黒の太字が**主語**、色刷りの単語が**動詞**です。主語が ich「私は」の場合、動詞の末尾が **-e** に、主語が er「彼は」の場合、動詞の末尾が **-t**、主語が sie「彼ら(彼女ら)は」の場合、動詞の末尾が **-en** になっています。

末尾の -e, -t, -enなどを**語尾**と、それらを除いた変わらない部分 trink-を**語幹**と呼びます。動詞は、主語の種類に応じて語尾が異なるのです。

語幹 trink- $\left\{ \begin{array}{l} -e \\ -t \\ -en \\ \dots \end{array} \right\}$ 語尾

§1

ドイツ語では、基本的に、主語を常に言い表します。主語になる人称代名詞には、**1人称**(話し手)、**2人称**(聞き手)、**3人称**(話し手・聞き手以外)の3種類があります。

また、各人称に、数(すう)に基づく**単数**と**複数**の区別があります。

3人称単数には、さらに、**男性か女性か事物か**の区別もありますので、計8つの形を覚えることとなります。

単数				複数	
1人称	ich	私は (英 <i>I</i>)	wir	私たちは (英 <i>we</i>)	
2人称	du	君は (英 <i>you</i>)	ihr	君たちは (英 <i>you</i>)	
3人称	er	彼は (英 <i>he</i>)	sie	彼ら	
	sie	彼女は (英 <i>she</i>)		彼女らは (英 <i>they</i>)	
	es	それは (英 <i>it</i>)		それらは	

注1 日本語には「人称代名詞」が多くあります。たとえば1人称の場合、「私は」「僕は」など、2人称の場合、「君は」「あなたは」など。表には、それらのうちの主なものを挙げます。

注2 sieという形は、3人称単数(=「彼女は」)の場合にも、3人称複数(=「彼らは」など)の場合にも用いられます。

§2

動詞の、主語の種類に応じて異なる語尾の一覧は、以下のようになります。なお、このように、動詞が異なった語尾をつけることを動詞の**人称変化**と呼びます。

	単数		複数	
1 人称	ich	-e	wir	-en
2 人称	du	-st	ihr	-t
3 人称	er/sie/es	-t	sie	-en

[注] Hans, Anke などの固有名詞や Vater 「父」とか Buch 「本」などのふつうの名詞も、「話し手・聞き手以外」なので、3 人称として扱います（第2章を参照）。

§3

上表のような、語幹に語尾のついた動詞の形を**定形**と呼びます。定形に対して、動詞そのもの（たとえば英語の *am, is, are* に対する *be*）を示す場合、語幹に **-en** のつけた形を用います。この形を**不定形**と呼びます。

trink-（語幹） + -en → trinken（不定形）

主語が wir や sie（3 人称複数）の場合の定形と同一になります

§4

辞書の見出し語には不定形が用いられます。人称変化した形、たとえば trinke の意味を辞書で調べる場合、語尾 -e を取り、代わりに語尾 -en をつけて調べます。

trink-e → trink- → trinken 「飲む」

§5

2 人称には、du/ihr 以外に Sie という形があります。du/ihr は肉親、友人などの親しい人に対して（**親称**）、Sie は初めて会う人やまだ親しくなっていない人に対して用います（**敬称**）。敬称は、文中でも頭文字を大文字で書き、単数と複数が同形です。また、動詞の語尾は -en になり、3 人称複数の sie と常に同形です。

Ich trinke Wein. Was **trinken Sie** ?

私はワインを飲みます。あなた [方] は何を飲みますか？

語尾は -en

大文字

Wir trinken Bier. Was **trinken sie** ?

私たちはビールを飲みます。彼ら（彼女ら）は何を飲むのだろうか？

[注] 親称と敬称を訳語的に区別するため、親称には「君」、敬称には「あなた」という訳語を当てていますが、これは、あくまで便宜的なものです。親に向かって「君」とは言えませんね。

《人称変化一覧》

1 人称	ich	trink- e	wir	trink- en
2 人称 親称	du	trink- st	ihr	trink- t
3 人称	er/sie/es	trink- t	sie	trink- en
2 人称 敬称	Sie	trink- en	Sie	trink- en

2 人称敬称

なお、語幹が **-d, -t** で終わる動詞（たとえば *baden* 「入浴する」、*warten* 「待つ」）は、主語が *du* の場合、語尾が **-est** に、*er* と *ihr* の場合、語尾が **-et** になります。この、挿入する *e* を **口調上の *e*** と呼びます。

不定形	<i>ich</i>	<i>bad-e</i>	<i>wir</i>	<i>bad-en</i>	
<i>baden</i>	<i>du</i>	<i>bad-est</i>	<i>ihr</i>	<i>bad-et</i>	
入浴する	<i>er/sie/es</i>	<i>bad-et</i>	<i>sie</i>	<i>bad-en</i>	
	<i>Sie</i>	<i>bad-en</i>	<i>Sie</i>	<i>bad-en</i>	2人称敬称

また、語幹が **-s, -ß, -x, -z** で終わる動詞は、2人称単数では人称語尾の *s* が落ちます。

<i>reisen</i>	旅行をする	: <i>du reist</i>	<× <i>reisst</i>
<i>grüßen</i>	挨拶をする	: <i>du grüßt</i>	<× <i>grüsst</i>
<i>boxen</i>	ボクシングをする	: <i>du boxt</i>	<× <i>boxst</i>
<i>heizen</i>	暖房する	: <i>du heizt</i>	<× <i>heizst</i>

§6

動詞には、一部、**不定形が -n** で終わるものがあります。これらは語幹末尾が *-el-, -er-* の動詞です。

angel-n 釣りをする (×*angel-en*)

rudern-n ボートを漕ぐ (×*rudern-en*)

なお、これらの動詞では、主語が *wir, sie* (3人称複数)、*Sie* (2人称敬称) の場合も、人称語尾が *-n* のみになります。ただし、語幹末尾が *-el-* の場合、1人称単数で、語幹の *e* を削除します。

不定形	<i>ich</i>	<i>angle</i>	<i>wir</i>	<i>angeln</i>	
<i>angel-n</i>	<i>du</i>	<i>angelst</i>	<i>ihr</i>	<i>angelt</i>	
釣りをする	<i>er/sie/es</i>	<i>angelt</i>	<i>sie</i>	<i>angeln</i>	2人称敬称
	<i>Sie</i>	<i>angeln</i>	<i>Sie</i>	<i>angeln</i>	

§7

最重要動詞 *sein* 「…である」と ***haben*** 「持っている」

《 *sein* の人称変化 》

<i>ich</i>	bin	<i>wir</i>	sind
<i>du</i>	bist	<i>ihr</i>	seid
<i>er/sie/es</i>	ist	<i>sie</i>	sind
<i>Sie</i>	sind	<i>Sie</i>	sind

《 *haben* の人称変化 》

<i>ich</i>	habe	<i>wir</i>	haben
<i>du</i>	hast	<i>ihr</i>	habt
<i>er/sie/es</i>	hat	<i>sie</i>	haben
<i>Sie</i>	haben	<i>Sie</i>	haben

Ich bin müde. 私は疲れています。

Hans ist reich. ハンスは金持ちです。

Ich habe Hunger. 私は空腹です。

Hans hat Durst. ハンスは喉がかわいています。

II 文の作り方 (CD・14)

Hans **spielt** jetzt Tennis.

ハンスは今テニスをします。

Spielst du auch Tennis?

君もテニスをするのですか？

Wo spielt ihr Tennis?

君たちはどこでテニスをするのですか？



確認

色刷りの単語が**動詞**，黒の太字が**疑問詞**です。動詞と疑問詞の位置は，文の種類によって決まっています。

§1

上例の最初の文は，「…です」と，物事をふつうに述べる文（**平叙文**）です。この場合，動詞が2番目にあります。平叙文では，動詞が2番目に置かれます。

Hans	spielt	jetzt	...
文頭	2番目	3番目	

§2

上例の2番目の文は，イエスかノーかを尋ねる疑問文（**決定疑問文**）です。この場合，動詞が文頭にあります。決定疑問文では，動詞が文頭に置かれます。

上例の最後の文は，疑問詞のある疑問文（**補足疑問文**）です。この場合，疑問詞が文頭に，動詞が2番目にあります。補足疑問文では，疑問詞が文頭に，動詞が2番目に置かれます。

Spielst	du	auch	...
文頭	2番目	3番目	
Wo	spielt	ihr	...
文頭	2番目	3番目	

§3

動詞と疑問詞の位置以外は，基本的に自由です。したがって，平叙文の場合ですが，文頭には，日本語と同様に，**副詞**や**目的語**も置くことができます。ただし，その場合でも，動詞の位置は2番目です。

Morgen	spielen	wir Tennis.	明日私たちはテニスをします。
文頭	2番目		
Tennis	spielt	er sehr gut.	テニスを彼はとても上手にします。
文頭	2番目		

注 ドイツ語には，英語の進行形「…している」に対応する形はありません。現在形が「…する」の意味でも「…している」の意味でも用いられます：

Er spielt morgen Tennis.	彼は明日テニスをします。
Er spielt jetzt Tennis.	彼は今テニスをしています。

対策テスト

1 次の文の（ ）の中に入れるのに最も適切な動詞の形を下の **1**～**3** のうちから選び、そのドイツ語文を下線部に書きなさい。 (CD・15)

(1) Ich () heute Fußball. 私はきょうサッカーをします。

- 1** spielst **2** spielt **3** spiele
-

(2) Anna und Anke () zusammen. アナとアンケは一緒に住んでいます。

- 1** wohne **2** wohnen **3** wohnt
-

(3) () er jetzt Japanisch? 彼は今、日本語を学んでいるのですか？

- 1** Lernen **2** Lerne **3** Lernt
-

(4) Was () du? 君は何を飲みますか？

- 1** trinkst **2** trinke **3** trinken
-

2 次の日本語を、与えられたドイツ語の単語を用いて、ドイツ語にきなさい。 (CD・16)
* 動詞は、不定形を載せますので、主語に応じて、適当な形に直しなさい。

(1) ハンスは熱心に医学を大学で学んでいます。

Hans / fleißig / Medizin / studier-en

(2) ハンスはきょうサッカーをし、明日ドイツ語を学びます。

Hans / heute / Fußball / spiel-en / und / morgen / Deutsch / lern-en

(3) 私は釣りをするのが好きです。(←私は喜んで釣りをします)

ich / gern / angel-n

(4) ハンスは音楽を聴くのが好きですか？(←ハンスは喜んで音楽を聴きますか？)

Hans / gern / Musik / hör-en / ?

(5) 彼女は明日結婚します。 sie / morgen / heirat-en

(6) 君の名前は何かといいますか？ (←君はどのように呼ばれますか？)
du / wie / heiß-en / ?

(7) 君は疲れていますか？ du / müde / sein / ?

(8) あなたは空腹ですか？ Sie / Hunger / haben / ?

3 次の文で空欄 (a) ~ (d) の中に入れるのに最も適切な動詞の形を、下の 1 ~ 3 のうちから選び、その番号を丸で囲みなさい。 (CD・17)

Anke (a) aus Deutschland. Sie (b) in Yokohama und (c)
Medizin. Wir (d) immer zusammen Tennis.

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| (a) 1 kommen | 2 komme | 3 kommt |
| (b) 1 wohne | 2 wohnt | 3 wohnst |
| (c) 1 studiert | 2 studiere | 3 studieren |
| (d) 1 spielen | 2 spiele | 3 spielt |

独検メモ

aber と möchten と oder と und

(CD・18)

5級でもよく使われ、個別的に学んだ方がよいものを4つほど挙げておきます。

aber

しかし (英 *but*)

Er ist intelligent, **aber** faul.

彼は頭がいいのですが、怠け者です。

möchten

①…が欲しい

Ich **möchte** ein Eis.

私はアイスクリームが欲しい。

②…したい

Ich **möchte** in Deutschland **studieren**.

私はドイツの大学で学びたいと思っています。

話法の助動詞としての用法

oder

あるいは (英 *or*)

Was trinkst du, Kaffee **oder** Tee?

君は何を飲みますか、コーヒーですか、紅茶ですか？

und

そして (英 *and*)

Sie ist intelligent **und** fleißig.

彼女は頭がよくて、熱心です。